



泉大津市と澤田が
事業連携協定

子供向けニット 制服を共同開発

毛布・ニット産地の大阪
府泉大津市は、ニット糸・
製品OEM（相手先ブラン
ドによる生産）の澤田（同

一賢出南の泉大津市の
田の澤田市長（左）と
誠社長

市）と事業連携協定を結んだ。子育て支援の充実と、子供の「衣環境」の向上を通じて、地場産業の認知を高めることが目的だ。その一環で市立の保育所・幼稚園で着用するニット製制服を共同開発する。

澤田はキッズブランド「アミアミ」で培った子供向けニットウェア製造のノウハウを生かし、3〜5歳児を対象に作った製品を同市に約200着寄贈した。今後、子供や保護者の意見

を聞きながら、「市民共創で制服を開発する」という。また、同社は泉大津市の健康推進事業「あしゆびプロジェクト」に協賛し、市内の保育所、幼稚園、認定こども園に通う4、5歳児に子供用の5本指ソックス約450足を贈った。

同市は協定を通じ、「『服育』の機会を創出し、子供たちの被服リテラシーの向上と、シビックプライド（地域への誇りと愛着）の醸成を推進し、子供たちがのびのびと過ごせる子育て環境を整備する」考え。